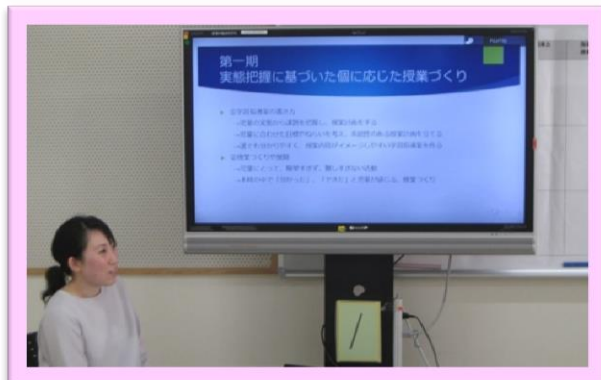


28道場（2年次）2月 部員による授業公開

【部員による授業公開を終えて】（28道場部員より）

- ☆チームの特徴に応じた作戦を立て、練習やゲームに取り組むことができた。単元を通して子供の技能面、思考・判断面での変容が見られた。今後の課題として、作戦の成功について明確に基準を決めて、成功体験をより多く実感させることが必要であると学んだ。（小学校・体育）
- ☆生徒の意見に対して問い返すような発問をすることによって、更に生徒の考えが深まるということを実感できた。協議会では、授業の中で望ましいと分かっているにもかかわらずそのとおりに実践できないことについて生徒に深く考えさせることが肝要であることを学んだ。（中学校・道徳）
- ☆本時の目標を達成するために必要な学習内容を精選して絞り込み、時間をかけて生徒に考察させられる環境をつくる。それにより、目標を十分に達成できるようにする。（高等学校：地理歴史）
- ☆一斉指導と個別学習のバランス、待ち時間の解消法について授業改善や指導方法の工夫の視点から考えていく。全体での指示に合わせた行動をとりにくい生徒に対しての指導方法について考えていく。（知的障害特別支援学校）



【部員の受講記録より】（1月に行われた第19回授業研究より）

- ・単元を通してのねらいをもって授業をつくることや、科学的思考力の向上のために生徒の「本当かな？」という批判的思考を育てていくこと、間違いを恐れず安心して自分の考えを発表できる雰囲気をつくることなどの大切さを学んだ。（中学校：理科）
- ・単元の配列は、生徒の実態に応じて効果的で最適な展開を考えることの大切さを学んだ。また、話し合い活動の評価について、様々な改善策を知ることができた。（中学校：理科）
- ・授業の目標が生徒に伝わるような授業展開や、具体的な現象から学習していく単元指導計画の工夫が必要だということ学んだ。（高等学校：理科）

【教授より】

中学校・高等学校の理科を担当してきたが、学習指導要領改訂の時期に当たり、「育てたい資質・能力」、「主体的・対話的で深い学び」など、協議の中で指導観を根本的に問い直す機会となった。ある班では、評価の指標をまとめたルーブリックを自校の生徒の実際に即して作成し学習指導案に入れるなど、授業研究を通じて新たな試みに挑戦してきた。その集大成が「部員による授業公開」であると言える。1か月前から学習指導案を検討し、何度も何度も練り直して修正を重ね、授業公開の直前にできあがった部員もいた。また、「部員による授業公開」の実施時期や方法の改善により、多くの先生方が参加しやすくなり、一般の方々にも一層開かれたものになったことは喜ばしい。（理科担当教授・都築 功）